

振り込め詐欺被害の根絶を目指して

1月29日、セッション杉並（杉並区梅里1-22-32）で、「杉並区振り込め詐欺根絶集会」が開催され、約450人が集まりました。このイベントは、区と区内3警察署、区内3防犯協会が主催するもので、一向になくならない振り込め詐欺の被害を減らすことを目的としています。

昨年6月、区は24時間対応の電話相談窓口「振り込め詐欺被害ゼロダイヤル」を設けたところ、半年の間に300件の相談がありました。それほど振り込め詐欺は身近なところにあります。電話相談を受けた多くのケースで、被害を免れることができましたが、相談することなく被害を受ける方も多くいます。

平成30年中の杉並区内での振り込め詐欺被害は、前年に比べ15件の減少となりました。しかし、平成26～28年と比較すると約2倍という発生件数になっています。区と3警察署では、振り込め詐欺被害を根絶するため、振り込め詐欺根絶集会やイベント会場で自動録音機能付き電話の利用などを促すことや金融機関との協力連携などに取り組んできましたが、犯人グループも巧妙に手口を変え、高齢者などからお金を騙し取る事件が後を絶ちません。

■振り込め詐欺被害件数（杉並区）

*30年は速報値

項目	25年	26年	27年	28年	29年	30年
件数	126件	84件	73件	82件	174件	159件
(前年比)	+28	-42	-11	+9	+92	-15

29日、セッション杉並で開かれた振り込め詐欺根絶集会には、地域の防犯団体などで活動する450人あまりが参加。集会のメインゲストは、立正大学の西田公昭（にしだきみあき）教授です。西田教授は、マインドコントロールを研究されていて、「なりすまし電話詐欺の心理的対策」をテーマに講演が行われ、「高齢者が決して騙されやすいわけではなく、銀行が開いている時間帯に自宅にいる高齢者が狙われているので、注意が必要です」と話しました。その後の東京都治安対策本部の寸劇では、「私だけは騙されないではなく私も騙されるかもしれない」と考えること。そして、その対策としては、「犯人と接点をもたないよう電話の留守番機能が有効です」と力説していました。



また、集会の最後には、毎年恒例の振り込め詐欺根絶宣言が行われ、来場者が掛け声に合わせて拳を振り上げ、振り込め詐欺の根絶を誓いました。

【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当：03-3312-2111 内線1582